

2010 年度 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
T1Z100201	教育実習（高等学校）（都市環境システム学科）	2.0	4年通期集中	各教員	教職 2
T1Z100202	教育実習（高等学校）（情報画像工学科）	2.0	4年通期集中	大川 祐輔	教職 2
T1Z100203	教育実習（高等学校）（電子機械工学科）	2.0	4年通期集中	中村 雅一	教職 2
T1Z100301	教育実習（中学校）（共生応用化学科）	4.0	4年通期集中	各教員	教職 3
T1Z100501	事前・事後指導（都市環境システム学科）	1.0	4年通期集中	各教員	教職 3
T1Z100502	事前・事後指導（情報画像工学科）	1.0	4年通期集中	大川 祐輔	教職 3
T1Z100503	事前・事後指導（電子機械工学科）	1.0	4年通期集中	中村 雅一	教職 4
T1Z100504	事前・事後指導（共生応用化学科）	1.0	4年通期集中	各教員	教職 4

授業科目名：教育実習（高等学校）（都市環境システム学科）
 科目英訳名：Teaching Practice
 担当教員：各教員
 単位数：2.0 単位
 開講時限等：4 年通期集中
 授業コード：T1Z100201
 講義室：

科目区分

（未登録）

[授業の方法] 実習

[受講対象] 事前に教育実習を申請した都市環境システム学科学生のみ

[目的・目標]

[授業計画・授業内容] 中学校または高等学校で 2 週間の教育実習を行う。事前事後指導についても同時期に履修する。

[評価方法・基準]

[履修要件] 教育実習と事前・事後指導を併せて履修する必要があります。

[備考] この科目は卒業要件単位にはならず、余剰単位になる。

授業科目名：教育実習（高等学校）（情報画像工学科）
 科目英訳名：Teaching Practice
 担当教員：大川 祐輔
 単位数：2.0 単位
 開講時限等：4 年通期集中
 授業コード：T1Z100202
 講義室：

科目区分

（未登録）

[授業の方法] 実習

[受講対象] 事前に教育実習を申請した情報画像工学科の学生のみ

[目的・目標]

[授業計画・授業内容] 中学校または高等学校で 2 週間の教育実習を行う。事前事後指導についても同時期に履修する。

[評価方法・基準]

[履修要件] 教育実習と事前・事後指導を併せて履修する必要があります。

[備考] この科目は卒業要件単位にはならず、余剰単位になる。

授業科目名：教育実習（高等学校）（電子機械工学科）
 科目英訳名：Teaching Practice
 担当教員：中村 雅一
 単位数：2.0 単位
 開講時限等：4 年通期集中
 授業コード：T1Z100203
 講義室：

科目区分

（未登録）

[授業の方法] 実習

[受講対象] 事前に教育実習を申請した電子機械工学科学生のみ

[目的・目標]

[授業計画・授業内容] 中学校または高等学校で 2 週間の教育実習を行う。事前事後指導についても同時期に履修する。

[評価方法・基準]

[履修要件] 教育実習と事前・事後指導を併せて履修する必要があります。

[備考] この科目は卒業要件単位にはならず、余剰単位になる。

T1Z100301

授業科目名：教育実習（中学校）（共生応用化学科）
 科目英訳名：Teaching Practice
 担当教員：各教員
 単位数：4.0 単位
 開講時限等：4 年通期集中
 授業コード：T1Z100301
 講義室：

科目区分
 （未登録）

[授業の方法] 実習

[受講対象] 事前に教育実習を申請した共生応用化学科学生のみ

[目的・目標]

[授業計画・授業内容] 中学校または高等学校で2週間の教育実習を行う。事前事後指導についても同時期に履修する。

[評価方法・基準]

[履修要件] 教育実習と事前・事後指導を併せて履修する必要があります。

[備考] この科目は卒業要件単位にはならず、余剰単位になる。

T1Z100501

授業科目名：事前・事後指導（都市環境システム学科）
 科目英訳名：Preparation for Teaching Practice
 担当教員：各教員
 単位数：1.0 単位
 開講時限等：4 年通期集中
 授業コード：T1Z100501
 講義室：

科目区分
 （未登録）

[授業の方法] 実習

[受講対象] 事前に教育実習を申請したデザイン工学科（意匠系）学生のみ

[目的・目標]

[授業計画・授業内容] (1) 事前指導 教育実習オリエンテーション、授業観察により構成する。 1) 教育実習オリエンテーション 4 年次前期初めに教育学部の協力を得て集中講義を行う。 2) 授業観察 教育実習オリエンテーション受講終了者は、教育実習開始前に実習校での授業観察を行いレポートを作成する。(2) 事前指導 学校行事、教育関連施設参観、総合討論により構成する。 1) 学校行事 実習校での行事(文化祭、体育祭等)に参加し本実習終了後レポートを作成・提出する。 2) 教育関連施設参観 本実習終了後、近隣の教育、文化、博物館等の施設を参観し、教育現場とのかかわりに関するレポートを作成・提出する。 3) 総合討論 本実習終了後、教育実習記録簿・各種レポートに基づき、指導教員と実習等の成果等について討論する。

[評価方法・基準]

[履修要件] 教育実習と事前・事後指導を併せて履修する必要があります。

[備考] この科目は卒業要件単位にはならず、余剰単位になる。

T1Z100502

授業科目名：事前・事後指導（情報画像工学科）
 科目英訳名：Preparation for Teaching Practice
 担当教員：大川 祐輔
 単位数：1.0 単位
 開講時限等：4 年通期集中
 授業コード：T1Z100502
 講義室：

科目区分
 （未登録）

[授業の方法]

[受講対象] 事前に教育実習を申請した都市環境システム学科の学生のみ

[目的・目標]

[授業計画・授業内容] (1) 事前指導 教育実習オリエンテーション、授業観察により構成する。 1) 教育実習オリエンテーション 4年次前期初めに教育学部の協力を得て集中講義を行う。 2) 授業観察 教育実習オリエンテーション受講終了者は、教育実習開始前に実習校での授業観察を行いレポートを作成する。(2) 事前指導 学校行事、教育関連施設参観、総合討論により構成する。 1) 学校行事 実習校での行事(文化祭、体育祭等)に参加し本実習終了後レポートを作成・提出する。 2) 教育関連施設参観 本実習終了後、近隣の教育、文化、博物館等の施設を参観し、教育現場とのかかわりに関するレポートを作成・提出する。 3) 総合討論 本実習終了後、教育実習記録簿・各種レポートに基づき、指導教員と実習等の成果等について討論する。

[評価方法・基準]

[履修要件] 教育実習と事前・事後指導を併せて履修する必要があります。

[備考] この科目は卒業要件単位にはならず、余剰単位になる。

T1Z100503

授業科目名：事前・事後指導 (電子機械工学科) 科目英訳名：Preparation for Teaching Practice 担当教員：中村 雅一 単位数：1.0 単位 授業コード：T1Z100503	開講時限等：4 年通期集中 講義室：
---	-----------------------

科目区分

(未登録)

[授業の方法]

[受講対象] 事前に教育実習を申請した情報画像工学科の学生のみ

[目的・目標]

[授業計画・授業内容] (1) 事前指導 教育実習オリエンテーション、授業観察により構成する。 1) 教育実習オリエンテーション 4年次前期初めに教育学部の協力を得て集中講義を行う。 2) 授業観察 教育実習オリエンテーション受講終了者は、教育実習開始前に実習校での授業観察を行いレポートを作成する。(2) 事前指導 学校行事、教育関連施設参観、総合討論により構成する。 1) 学校行事 実習校での行事(文化祭、体育祭等)に参加し本実習終了後レポートを作成・提出する。 2) 教育関連施設参観 本実習終了後、近隣の教育、文化、博物館等の施設を参観し、教育現場とのかかわりに関するレポートを作成・提出する。 3) 総合討論 本実習終了後、教育実習記録簿・各種レポートに基づき、指導教員と実習等の成果等について討論する。

[評価方法・基準]

[履修要件] 教育実習と事前・事後指導を併せて履修する必要があります。

[備考] この科目は卒業要件単位にはならず、余剰単位になる。

T1Z100504

授業科目名：事前・事後指導 (共生応用化学科) 科目英訳名：Preparation for Teaching Practice 担当教員：各教員 単位数：1.0 単位 授業コード：T1Z100504	開講時限等：4 年通期集中 講義室：
---	-----------------------

科目区分

(未登録)

[授業の方法] 実習

[受講対象] 事前に教育実習を申請した共生応用化学科学生のみ

[目的・目標]

[授業計画・授業内容] (1) 事前指導 教育実習オリエンテーション、授業観察により構成する。 1) 教育実習オリエンテーション 4 年次前期初めに教育学部の協力を得て集中講義を行う。 2) 授業観察 教育実習オリエンテーション受講終了者は、教育実習開始前に実習校での授業観察を行いレポートを作成する。(2) 事前指導 学校行事、教育関連施設参観, 総合討論により構成する。 1) 学校行事 実習校での行事(文化祭、体育祭等)に参加し本実習終了後レポートを作成・提出する。 2) 教育関連施設参観 本実習終了後、近隣の教育、文化、博物館等の施設を参観し、教育現場とのかかわりに関するレポートを作成・提出する。 3) 総合討論 本実習終了後、教育実習記録簿・各種レポートに基づき、指導教員と実習等の成果等について討論する。

[評価方法・基準]

[履修要件] 教育実習と事前・事後指導を併せて履修する必要があります。

[備考] この科目は卒業要件単位にはならず、余剰単位になる。